

生成 AI を活用してますか？ NotebookLM で業務の効率化ができる？

Google Workspace for Education で利用できる生成 AI サービスである「Gemini」「NotebookLM」が Google Workspace のコアサービスとなったことに加え、これらの生成 AI サービス活用に係る年齢制限等が変更されました。県立学校の教員はこれまでの生成 AI サービスの Gemini に加え、令和7年8月13日からは NotebookLM の利用が可能となっています。市町村立学校については、各市町村教育委員会のルールに基づいて、利用できるようになっていますので、ご確認ください。

なお、児童生徒の利用には Google Workspace の利用に係る承諾書の他に、生成 AI サービス利用に係る承諾を保護者からいただくことで利用が可能です。

生成 AI は日々進化し、これからも進化するとされています。生成 AI を相棒として、仲良く付き合うことで業務の効率化を図ることができるかもしれません。ぜひ、活用してみてください。

【NotebookLM の特長】

今回は、新しく利用可能となった生成 AI サービス NotebookLM を紹介します。

NotebookLM では、**アップロードした資料(PDF データ、文書、静止画、動画、音声等)やテキスト、Web サイト等を基に、回答を生成してくれるため、利用者が根拠とした情報を与えることで比較的信頼性の高い回答を生成させることができます。**

図1は、NotebookLM に令和7年9月25日に公表された「教育課程企画特別部会における論点整理について(報告)」をアップロードしたものです。



図1 NotebookLM の操作画面(教育課程企画特別部会における論点整理をアップロードした例)

【NotebookLM の活用例】

- ① 大量の資料から要点を整理してくれたり、生成された回答の引用元を示してくれるため、内容の確認や意思決定がスムーズに行えたり、複数の情報(データ)を基に情報の整理・分析、まとめることができます。
- ② アップロードした資料を基に、レポートやマインドマップ、音声解説等を作成させることができます。
- ③ ボイスレコーダー等で収録した音声データをアップロードすることで、これまで時間のかかっていた文字起こしをさせることができます。

【NotebookLM の起動方法】

NotebookLM は、県域 Google Workspace アカウント【gs.myswan.ed.jp】でログインするだけで利用することができます。ブラウザでログインした上で、画面右上にある9点ランチャー(9つの点々の集まり)を選択し、下にスクロールすると、NotebookLM のアイコンが表示されます(図2)。

【留意事項】

生成 AI で取扱うことができる情報は、自治体や教育委員会等の情報セキュリティポリシーで「個人情報や秘匿情報を含む情報資産をアップロード禁止」としている場合があります。活用前に必ず、各自治体や教育委員会等のルールを確認してください。

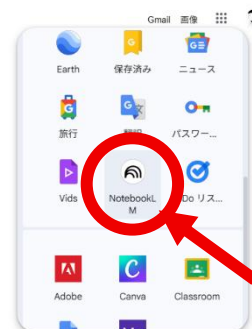


図2 NotebookLM の起動

実践事例紹介

遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」研修会報告 宮城県泉高等学校 教諭 尾形 祥平

宮城県総合教育センターの令和6年度専門研究の教育の情報化研究グループが開発した、遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」をご存じですか。「えんかくいろは」は、「えんかく事典」と「研修いろは」の2つのコンテンツで構成されています。今年度は、研修パッケージの開発者が県内の学校に赴き、研修会を実施する取組を行っています。今号では、宮城県泉高等学校で実施した研修会について、報告します。



※研修パッケージは、上記二次元コードからご覧になれます。

研修会実施校	宮城県泉高等学校	実践の対象	教員																				
研修会概要	<p>夏季休業中に、宮城県泉高等学校で教員研修会を行いました。今回の研修では、「いの段」を先生方に事前視聴していただきました。「いの段」を事前視聴が終えていたため、「ろの段」「はの段」を1時間という限られた時間で行うことができました。「ろの段」では「遠隔授業において起こりうる困りごとに対する解決策を考える」ミッションに2回挑戦し、「はの段」では3つのグループに発表していただくことができました。研修動画の再生速度を1.25倍で再生しました。</p> <p>遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」では、①遠隔授業の背景・現状などを知り、遠隔授業についてイメージすることができる「いの段」、②遠隔授業で起こり得る出来事をロールプレイ体験し、話し合う（振り返）ることができる「ろの段」、③話し合った考えやアイデアを発表・共有する「はの段」の研修段階があり、「いの段」「はの段」では、個別での研修が可能です。</p> <table><tr><th colspan="2">研修段階</th><th>内容</th><th colspan="2">研修形態</th></tr><tr><td>いの段</td><td>い</td><td>イメージしよう！</td><td>集合</td><td>個別</td></tr><tr><td>ろの段</td><td>ろ</td><td>ロールプレイ体験をしよう！</td><td>集合</td><td>個別</td></tr><tr><td>はの段</td><td>は</td><td>話し合った考えやアイデアを発表・共有しよう！</td><td colspan="2">集合</td></tr></table> <p>図1 遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」の「研修いろは」</p> <p>また、一度にすべての研修段階を行う方法の他に、2～3回に分けて短時間で行うこともできます。</p> <p>各研修段階では、研修動画を再生・停止しながら研修を進めることができます。研修動画は、YouTubeで公開されているため、再生速度や画質等を学校のニーズに合わせて調整することができます。</p> <p>★事後アンケートの結果は以下のとおりです★</p> <p>【A できた、B どちらかといえばできた、C どちらかといえばできなかった、D できなかった】</p> <p>① 研修会を通じて、遠隔授業の必要性を理解することができましたか。【A:23 B:7 C:0 D:0】</p> <p>② 今後、あなたが遠隔授業を実施する上で、必要なことや足りないことなどを考えることができましたか。【A:22 B:8 C:0 D:0】</p> <p>自由記述欄には「新しい発見があり、遠隔授業の可能性の広がりを感じた。」「短い時間でしたが、ポイントがおさえられていて良かった」「アニメーションのおかげで遠隔授業に親しみを覚えることができた」といった肯定的なご意見をいただくことができました。</p>			研修段階		内容	研修形態		いの段	い	イメージしよう！	集合	個別	ろの段	ろ	ロールプレイ体験をしよう！	集合	個別	はの段	は	話し合った考えやアイデアを発表・共有しよう！	集合	
	研修段階		内容	研修形態																			
	いの段	い	イメージしよう！	集合	個別																		
	ろの段	ろ	ロールプレイ体験をしよう！	集合	個別																		
	はの段	は	話し合った考えやアイデアを発表・共有しよう！	集合																			
読者へのメッセージ	<p>遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」に収録されている「えんかく事典」「研修動画」等の動画コンテンツは、教員はもちろんのこと、小学生から高校生までの児童生徒や保護者に見ていただくことを想定して作成しています。</p> <p>これから遠隔授業を受ける児童生徒や、その保護者は、初めての経験に不安感を覚えるのではないのでしょうか。そんなときに、「えんかくいろは」を活用し、遠隔授業のイメージを持っていただくことで、その不安感の解消につなげることもできると考えています。</p>																						
	<div><div>これから遠隔授業を受ける児童生徒や、その保護者は、初めての経験に不安感を覚えるのではないのでしょうか。そんなときに、「えんかくいろは」を活用し、遠隔授業のイメージを持っていただくことで、その不安感の解消につなげることもできると考えています。</div><div><div>これから遠隔授業を始めたい</div><div><div>レベルA</div><div>こんな場面で活用してね！</div><div>非常に備えて第一步を踏み出したい！</div><div>これから遠隔授業を始めたい！</div></div></div><table><tr><th>整理番号</th><th>対象</th><th>動画タイトル</th></tr><tr><td>A01S</td><td>児童・生徒・保護者</td><td>どんなルールが必要？</td></tr><tr><td>A02S</td><td>児童・生徒・保護者</td><td>オンライン会議に参加したい</td></tr><tr><td>A03S</td><td>児童・生徒・保護者</td><td>接続テストをしたい</td></tr><tr><td>A04S</td><td>児童・生徒・保護者</td><td>授業の始まりは…</td></tr><tr><td>A05S</td><td>児童・生徒・保護者</td><td>黒板の使える範囲を確認したい</td></tr></table><p>図2 遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」の「えんかく事典」一覧の一部</p><p>遠隔授業を始める前や、困ったときにこそ「えんかく事典」をぜひ、ご活用ください。</p></div>			整理番号	対象	動画タイトル	A01S	児童・生徒・保護者	どんなルールが必要？	A02S	児童・生徒・保護者	オンライン会議に参加したい	A03S	児童・生徒・保護者	接続テストをしたい	A04S	児童・生徒・保護者	授業の始まりは…	A05S	児童・生徒・保護者	黒板の使える範囲を確認したい		
整理番号	対象	動画タイトル																					
A01S	児童・生徒・保護者	どんなルールが必要？																					
A02S	児童・生徒・保護者	オンライン会議に参加したい																					
A03S	児童・生徒・保護者	接続テストをしたい																					
A04S	児童・生徒・保護者	授業の始まりは…																					
A05S	児童・生徒・保護者	黒板の使える範囲を確認したい																					

(編集後記)

今号は、宮城県教育委員会から付与されているGoogle Workspaceで利用可能な生成AIサービスの一つである「NotebookLM」について取り上げました。

大量の資料の内容を確認したり、その要点をまとめたりする場面が少なくないのではないのでしょうか。新しいツールをうまく使いこなし、業務改善を図ってみてはいかがでしょうか。 [第45号担当 千坂]